

看護学部／看護学科	職名	教授	氏名	村方 多鶴子
-----------	----	----	----	--------

1. 教員紹介・主な研究分野

看護師として大学病院で勤務後、教育の分野（高等学校衛生看護科・専攻科、医療技術短大、看護学部など）で長年働いてきました。その後、精神科を専門とする訪問看護ステーションにて看護師として勤務後、再び教育・研究の場に戻り、令和3年度に本学に着任しました。

研究分野としては、精神障害をもつ母親の子育てに関する研究などを行っていましたが、訪問看護ステーション勤務後は主に、精神科訪問看護ステーションにおける新任スタッフ育成に関する研究を行っています。

2. 研究業績

① 最近の著書・論文

- ・ 萱間真美、稲垣中編集（2021）：精神看護学Ⅰ、第3章（発達段階別にみる発達課題と精神の健康）3-1 発達理論と発達課題、南江堂、p 131-135.
- ・ 吉川隆博・木戸芳史編集（2021）：精神看護、第2部（アセスメント：リカバリー志向の包括的アセスメントをする技術）3-4 社会的アセスメント（家族、環境）、中央法規、p 113-117.

② その他最近の業績

〈学会発表〉

- ・ 村方多鶴子 (2022) : 精神障害者を対象とした訪問看護を行う新任スタッフの成長プロセス、第12回日本在宅看護学会学術集会（Web開催）.
- ・ 村方多鶴子 (2022) : 精神障害者を対象とした訪問看護を行う新任スタッフ育成プログラムの開発－管理者が新任スタッフに行っているサポート－、第42回日本看護科学学会学術集会（Web開催）.

③ 過去の主要業績

- ・ 村方多鶴子 (2018) : 集中的な支援が必要な精神障害者に対する24時間電話対応、精神科臨床サービス、18(3)、p 54～58
- ・ 村方多鶴子 (2018) : 訪問看護における電話対応、精神科臨床サービス、18 (3)、P59～P62
- ・ 村方多鶴子、角田秋 (2017) : 必要な精神医療を受けずに子どもと同居している母親への支援アウトリーチ推進事業による手厚い支援の分析、精神障害とリハビリテーション、21(2)、p 188～195

4. 受賞

5. 所属学会

日本看護研究学会、日本看護科学学会、日本精神保健看護学会、日本社会精神医学会、日本精神障害者リハビリテーション学会、日本在宅看護学会

6. 担当授業科目

〈学部〉看護倫理学・1単位・2年・前期、精神看護学・2単位・2年・後期、精神看護学演習Ⅰ・1単位・3年・前期、精神看護学演習Ⅱ・1単位・3年前期、精神看護学実習・2単位・3年後期、専門看護学ゼミ・2単位・3年・通年、卒業研究・2単位・4年・通年

〈大学院〉

助産学課題研究・4単位・1年・通年、特別研究・8単位・2年・後期

7. 社会貢献活動

福岡県覚醒剤・麻薬禍対策協議会委員

8. 学外講義・講演

- ・宮崎県立看護大学：精神科訪問看護力向上のためのネットワーク構築事業：精神科訪問看護における看護実践力を高める看護師間の交流の推進
- ・全国訪問看護事業協会：精神科訪問看護研修会ファシリテーター
- ・入学説明会：北筑高校
- ・静岡県立大学大学院看護学研究科特別講義：地域における看護活動 精神科訪問看護

9. 附属研究所の活動等